

高齢者介護施設の感染防止対策は万全か？

## 介護施設と感染管理・リスクマネジメント

ばたい ひでお  
馬袋 秀男 介護老人保健施設シーダ・ウォーク施設長

### 「感染管理について」

介護老人保健施設での感染対策としては、高齢者の共同生活の場との視点から、かぜ・インフルエンザの飛沫感染、結核など空気感染、疥癬・MRSAなどの接触感染、ノロウイルスによる感染性胃腸炎や食中毒などの経口感染などに力点を置かれている。更に、高齢者の場合、内因性感染症として誤嚥性肺炎・気管支炎・尿路感染・胆道感染・褥瘡感染症があり、看護・介護職員による衛生管理の徹底、適切な介護方法の確立が必要である。

当法人では、財団本部に医師・看護婦・コメディカル・ハウスキーピングなどで構成される「感染対策委員会」を組織してあらゆる病原体を念頭においた標準的な予防対策「standard precaution」を「感染管理規定」にて定めている。そして、財団内の各病院や施設、在宅ケアなどの事業所毎に感染対策委員会を設置し、財団本部の感染管理規定の運用と各事業所の機能にそった管理手順の作成や教育訓練をおこなっている。感染管理は、「感染させない」「発生させない」ためにも「感染経路の遮断」「早期発見・早期治療」が基本である。そして「退所後」「ショートステイ」「デイケア」においても地域の在宅介護支援機関との継続的な感染管理の連携が大切である。

### 「リスクマネジメントについて」

ケアサービスにおいて最も重要なのは、利用者への安全で安心なサービス提供と職員・関係者の安全である。事業者や事業所のリスクを中心に考えるのではなく、利用者のセーフティーマネジメントを中心に取組むことが大切である。このことは、日常の仕事や組織運営を職員個々や組織の都合でなく、利用者を中心に行動する習慣を身につけることが大切である。また、事故やトラブルにおいて、関与した職員個人を責める考え方や是正を個人に依存するのではなく、組織全体の課題として考え行動することが大切である。リスクマネジメントは、リスク要因の分析と予防処置、発生したリスクへの是正処置が重要である。リスクの是正処置は、リスクの実態と原因、応急処置、予防処置、恒久対策としての再発防止、そして是正した内容の効果検証まで行なうことが大切である。リスクマネジメントは「利用者重視」「リーダーシップ」「職員・関係者の参画」「プロセスアプローチ」「システムアプローチ」「継続的改善」「事実に基づく意思決定」「供給者との互惠関係」を原則にして組織全体で改善していくことであり、結果として「サービスの質向上」のマネジメントへ展開されることになる。